



『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット／さく
ルース・クリスマン・ガネット／え わたなべしげお／やく
福音館書店

エルマーは、竜を助けるために動物島にやってきた。島につくと、いろいろな動物に襲われるが、なんとか逃げ出した。でも、ようやく竜を見つけたら、動物たちが追いかけてきたからさあたいへん！ おもしろくて、ワクワクする一冊です。



『おかあさん、げんきですか。』

後藤竜二／作 武田美穂／絵
ポプラ社

「ありがとう」が素直に言えないぼくが、母の日に書いた感謝の手紙。なかなか文字にならなかったけれど、そこには普段言えなかったおかあさんへの願いが書かれていた。子どもの心の純粋さを再認識する一冊です。



『おじいちゃんがおばけになったわけ』

キム・フォップス・オーカソン／文
エヴァ・エリクソン／絵 菱木晃子／訳
あすなろ書房

ある日、死んだはずのおじいちゃんが、夜になってエリックの部屋へやってきた。でもなんだか様子がヘン。どうやらおじいちゃんはこの世に忘れ物があるらしい。その忘れ物とは…？「死」について、重くならず、しみじみ考えさせてくれます。



『おいしいのぼうけん』

古田足日／作 田畑精一／絵
童心社

さくら保育園には、こわいものが2つ。ひとつはおいしいで、もうひとつは、ねずみばあさん。ある日、あきらとさとしが、お昼寝の時間にあばれて、こわいおいしいの中に入れられました。ふたりの大活躍にハラハラ、ドキドキさせられます。